

資料1

今回会議の内容

令和5年度 第2回下水道技術開発会議の内容

下水道技術開発会議 活動の柱	第1回会議 (R5.7.26)	今回 (R6.2.7)
①技術ニーズの把握と発信	・課題解決技術支援ツール(試行版)の改良方針の説明	・課題解決技術支援ツール(試行版)の改良結果報告 【資料4】
②技術シーズの把握と発信	・令和4年度補正B-DASH採択結果報告 ・令和5年度B-DASH採択結果報告 (国交省下水道部より) ・令和6年度B-DASH実証テーマ公募報告	・令和5年度補正B-DASH公募報告 ・令和6年度B-DASH公募報告 (国交省下水道部より)【資料2】
③ニーズとシーズの架け橋	・課題解決技術支援ツール(試行版)の改良方針の説明(①再掲) ・意見交換の場の設置強化(B-DASHガイドライン説明会、産・学・JSとの意見交換等を通じた新技術導入推進策の検討等)	・課題解決技術支援ツール(試行版)の改良結果報告(①再掲) 【資料4】 ・日本下水道協会Geマッチングの説明 【資料6】
④国などの技術情報の共有	・B-DASH技術の普及状況等の報告 (R4.5時点) (国交省下水道部より)	・B-DASH技術の普及状況等の報告 (R5.3時点) (国交省下水道部より) 【資料2】
⑤地方の技術開発・技術導入の支援	・令和5年度エネルギー分科会の取組方針の説明 ・中小都市に対する、課題解決技術支援ツール(試行版)の積極的な広報	・令和5年度エネルギー分科会の主な検討事項の報告 【資料3】
⑥技術開発の戦略・方針の提示	・下水道技術ビジョンロードマップの全体見直し方針の説明 ・令和5年度ロードマップ重点課題の説明 (8/21 HP公表)	・下水道技術ビジョンロードマップの全体見直し案の説明 【資料5】